



おのまち

議会だより

170号

令和4年
5月26日発行

定例会3月会議

5 常任委員会審査

6 令和4年度主要プロジェクト

8 町政を問う! 5人が一般質問

14 議会活動トピックス

3年ぶりに開催された消防団春季検閲式

定例会3月会議

3月3日～3月11日



▲本会議の様子

令和4年小野町議会定例会3月会議は、3月3日から3月11日まで9日間の日程で開かれました。

会議では、令和3年度各会計補正予算、令和4年度各会計当初予算、条例の一部改正など24件の町長提出議案と、議員提出議案4件が提出され、議案は28件が全員賛成で原案のとおり可決となりました。

また、5名の議員が一般質問を行い、町政各般にわたり町長の考えをたしました。

令和4年度当初予算 一般会計予算総額56億5300万円

令和4年度当初予算は、「未来へ おのまち総合計画」における重点事業に加え「まち・ひと・しごと創生総合戦略」や「過疎地域持続的発展計画」に基づく諸事業を基本に「人づくり、子育て支援」「健康づくりの推進」「産業の更なる振興・発展」「支えあえる地域づくり」等、総合的に事業を推進する内容の予算が計上されました。

各会計の予算総額は下表のとおりです。

※1万円未満切り捨て

会計区分		本年度予算額	前年度予算額	増 減	
一般会計		56億5300万円	55億4200万円	1億1100万円	
特別会計	国民健康保険	11億4598万円	11億6515万円	▲1917万円	
	後期高齢者医療	1億1710万円	1億1724万円	▲14万円	
	介護保険	14億3084万円	14億6481万円	▲3397万円	
	浄化槽整備推進事業	7619万円	7733万円	▲114万円	
	文化・体育振興基金	213万円	207万円	6万円	
地方公営企業会計	水道事業	収益的收入	1億6602万円	1億6752万円	▲150万円
		収益の支出	1億6138万円	1億6257万円	▲119万円
		資本的收入	6303万円	4113万円	2190万円
		資本の支出	1億3607万円	1億797万円	▲2810万円

令和3年度 各会計補正予算

令和3年度一般会計並びに各特別会計等の補正予算について審査しました。

各会計の補正予算額については、右表のとおりです。

<令和3年度補正予算額>

※1万円未満切り捨て

会計区分		補正額	補正後予算額	
一般会計		2億3103万円	62億5872万円	
特別会計	国民健康保険	2207万円	12億4130万円	
	後期高齢者医療	▲80万円	1億1684万円	
	介護保険	▲4120万円	14億8193万円	
	浄化槽整備推進事業	▲960万円	6989万円	
	文化・体育振興基金	5万円	286万円	
	水道事業	収益的收入	▲11万円	1億6528万円
企業会計	地方公営事業	収益の支出	▲134万円	1億5909万円
		資本的收入	▲154万円	5553万円
		資本の支出	▲85万円	1億2307万円

条例制定・一部改正

条例制定2議案、条例の一部改正7議案を可決しました。
主な内容は次のとおりです。

◆小野町公共施設等解体基金条例を制定

町有財産のうち、当初の行政目的による使用が終了し、かつ老朽化が著しく行政財産または普通財産として使用が困難な公共施設を、計画的に解体・撤去するため、その財源を積み立てることを目的に基金を創設するものです。

◆小野町みんな笑顔で健康づくり推進条例を制定

町民が生涯にわたり心身ともに健康で生き生きと生活できる健康長寿社会の実現に向け、健康づくりに関する基本的事項を規定し町民の健康づくりを総合的に推進するために制定するものです。



◆押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例による一部改正

行政手続きにおける住民の利便性向上及び業務の効率化を図るため、押印の廃止を行う上で所要の改正が必要となる条例の改正をするものです。

・小野町行政財産使用料条例の一部改正
・行政財産使用許可申請書への押印を廃止
外2件

◆小野町消防団設置等に関する条例の一部を改正

消防団員の定数見直し及び処遇改善を図るほか、各種手当に係る規定を国の方針に基づき改めるものです。

①消防団員の定数を「380名」から「350名」に改める
②一般団員の年額報酬を「26,500円」から「36,500円」に改める。



◆小野町子育て世代包括支援センター設置条例の一部を改正

令和4年度より、旧夏井おおすぎ保育園施設を子育て世代包括支援センターの分館と位置づけし、未就学児の一時預かり事業を追加する改正を行うものです。



◆小野町営住宅等条例の一部を改正

団子田住宅の5戸の解体撤去に伴い、団子田住宅を廃止し公営住宅の管理戸数を226戸に改めるものです。

指定管理者の指定条件

◆公の施設の指定管理者の指定について

小野町日影南麓緑とのふれあいの森公園の指定管理者に、特定非営利活動法人小野自然倶楽部を指定するものです。

指定期間は、令和4年4月1日から令和9年3月31日までの5年間です。

議員提出議案

4件の議員提出議案を可決しました。

◆議員派遣について

小野町議会会議規則第127条第1項により、議案の審査又は町の事務調査などのため議員を県内外に派遣することについて提案したものです。

議案提出者：先崎 勝馬 議員

◆意見書の提出

陳情採択に伴い、意見書を内閣総理大臣等に提出することについて提案したものです。

○シルバー人材センターに対する支援を求める意見書

センター会員への配分金についてはインボイス制度の適用除外を要望する内容です。

議案提出者：緑川 久子 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、財務大臣、厚生労働大臣、経済産業大臣、衆議院議長、参議院議長

○福島県最低賃金の引き上げと

早期発効を求める意見書

議案提出者：中野 孝一 議員

意見書提出先：内閣総理大臣、厚生労働大臣、福島労働局長

◆ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議

議案提出者：竹川 里志 議員

ロシアのウクライナ侵攻に 抗議する決議

今回のロシアによるウクライナへの侵攻は、ウクライナの主権と領土を侵害し、国際社会の平和と秩序、安全を著しく損なう暴挙である。罪のない子どもたちを含めた多くの人命が奪われている事態は、いずれの国、地域にあつてもならないことであり、断じて容認することはできない。

よって、小野町議会はロシアによるウクライナへの侵攻に断固として抗議し、武力行使の即時停止と完全撤退を求める。政府においては、ウクライナ国民への人道的、経済的支援、在留邦人の安全確保に全力を尽くすとともに、国際社会と連携し、毅然たる対応をとることを求める。

以上、決議する。

令和4年3月11日

小野町議会



▲シルバー人材センターに対する支援を求める意見書(緑川 久子議員)



▲議員派遣について(先崎 勝馬議員)



▲ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議(竹川 里志議員)



▲福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書(中野 孝一議員)

ここが聞きたい 質疑 常任委員会審査

予算決算常任委員会

令和3年度の一般会計及び各特別会計補正予算、令和4年度の当初予算を審査しました。

総務課

問 新庁舎建設基本計画策定業務の委託は、どのような事業者を想定しているのか。

答 計画策定業務の委託であり、建設の基本理念、建設場所、庁舎機能、建設規模、概算事業費の算出、建設手法・スケジュールの策定等、全体の計画ができる事業者を想定している。



問 まちづくりアドバイザーの具体的な活用方法は。

答 法令に精通している方かつ、小野町に縁のある方を想定している。町づくりのアドバイザー、職員研修の講師等をお願いしたいと考えている。

企画政策課

問 新卒者就労応援金30万円が、1年目5万円、2年目10万円、3年目15万円に分けて交付となった。応援金は先送りしない方がよい、企業で行う研修の支援等ではどうか。

答 当初は人材育成の支援として企業に交付していたものを、立地企業等懇談会で離職状況の意見もあり、長く勤めていただきたいと個人への交付に切り替えた。この支援策を始め、企業や地元就職者の意見を聞きながら随時見直していききたい。

問 住宅取得支援事業で、県外から移住した場合の補助金額はいくらか。

答 基本額が30万円、39歳以下で10万円の加算、地元業者活用で10万円の加算となり最大50万円。県も同額を上乗せする補助制度があり合計100万円が最大である。町では義務教育修了前の子どもがいる場合は10万円の商品券も併せて交付する。

町民生活課

問 昨年の落雷で火葬場が一時利用できなかったことの対応は。

答 電源の確保が重要であり、非常用発電機の設置を計画している。

問 コンビニ証明書発行事業について説明願いたい。

答 窓口で発行する各種証明書をコンビニで取得できるもので行政手続きのデジタル化や、マイナンバーカード普及、コロナ感染症対策の一つとして県内28市町村で導入している。住民票・印鑑証明・戸籍・所得証明書・課税証明書の交付を想定しており、午前6時30分より午後11時まで取得可能としたい。周知用のチラシは令和4年度作成する。



健康福祉課

問

介護予防住宅改修費の申請は償還払い、受領委任払いの方法があるが2本立てでよいのか。

答

支払方法は一度本人が全額負担し、事後申請で支払いを受ける償還払いとしているが、利用者の負担が軽減されるよう事業者が立替し給付額を受領する方法についても今後検討したい。



問

健康まつりとはどのようなものか。

答

小町ふれあいフェスタ内での開催を想定。来場者の健康チェック、自身の健康情報の提供や相談受付ブースを設けて健康について考える機会とするもの。

産業振興課

問

6次化拠点施設の整備について、廃校舎等の再利用は考えているのか。

答

改築した場合の費用額や水の問題も考慮し、廃校舎等の再利用を含め総合的に検討していきたい。

問

イノシシ対策事業として300万円計上されているが、1か所当たりの面積要件はあるのか。

答

面積要件はない。

教育課

問

中学生の平和記念式典派遣事業の内容は。

答

広島平和記念式典をメインに中学生を派遣し、命の大切さや尊厳などを学んでもらうもの。中学生3名と随行教職員2名を想定している。

令和4年度

主要プロジェクト

「未来へ おのまち総合計画」の目標達成のための主要プロジェクトは次のとおりです。

基本目標 ① 子育てや教育の喜びを感じ、そして生きがいを見出すために (単位:千円)

事業名	事業費
幼児教育・保育環境充実事業	174,700
小中学校学力向上対策事業	14,000
外国語理解推進事業	4,800
特別支援教育推進事業	20,100
スクールバス運行事業	83,000
地域と学校の連携・協働事業	200
多子世帯学校給食費負担軽減助成事業	10,000

基本目標 ② 便利で住みよいきれいな町を目指して

事業名	事業費
役場庁舎整備推進事業	20,800
小野インターチェンジ周辺開発推進事業	3,900

基本目標 ③ 将来への不安のない健康的な暮らしを全ての町民へ

事業名	事業費
各種健康診査受診率向上事業	18,200
壮年期からの健康づくり事業	8,700
運動の習慣化による健康づくり推進事業	2,700
公立小野町地方総合病院支援事業	154,300

基本目標 ④ 働く喜びをみんなで感じるために

事業名	事業費
農業者育成推進事業	6,000
優良和・乳牛導入事業	4,100
農業基盤整備事業	12,100
多面的機能支払交付金事業	26,800
6次産業化と発酵のまちづくり推進事業	8,200
町特産品販売力強化支援事業	1,500
創業支援事業	—

※事業費は10万未満切上げ、「—」は予算計上なし

審議した議案と各議員の賛否

・賛成が「○」、反対は「×」と表示します。
 ・田村弘文議長は採決に加わりません。
 ・渡邊議員は3月会議欠席のため、採決に加わりません。

会議名	提出区分	議案名	可否	會田百合子	中野孝一	緑川久子	先崎勝馬	渡邊直忠	会田明生	吉田康市	宗像芳男	水野正廣	久野峻	竹川里志
定例会3月会議	町長	令和3年度小野町一般会計補正予算・各特別会計等補正予算 7件	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		令和4年度小野町一般会計予算・各特別会計等予算 7件	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町公共施設等解体基金条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町みんな笑顔で健康づくり推進条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		押印の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		公立幼児教育施設閉園に伴う関係条例の整備に関する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町消防団設置等に関する条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町子育て世代包括支援センター設置条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		小野町町営住宅等条例の一部を改正する条例について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		公の施設の指定管理者の指定について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
	議員	議員派遣について	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		シルバー人材センターに対する支援を求める意見書	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		福島県最低賃金の引き上げと早期発効を求める意見書	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○
		ロシアのウクライナ侵攻に抗議する決議	可決	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○

※提出区分欄の「町長」は町長提出議案、「議員」は議員提出議案を示します。

※紙面の関係上、予算関係議案は集約して掲載しています。個々の議案名は小野町議会のホームページに掲載します「会議録」をご覧ください。

町政を問う

※紙面の関係上、「◆」の質問と答弁の内容のみ要約して掲載しています。
掲載されていない質問項目の内容等は、小野町議会のホームページに掲載します。
「会議録」をご覧ください。(6月下旬掲載予定)

緑川 久子 議員 8ページ

- 1 コロナ禍におけるデジタル化推進の現状と課題について
- ◆ ・ICT人材の確保・育成と「デジタル化推進室」の設置について
- ・マイナンバーカードの交付状況と活用について
- ◆ ・中高年層などデジタルを苦手とするIT弱者への支援について

会田 明生 議員 9ページ

- 1 小野高校の存続について
- ◆ ・県立高校改革後期実施計画について
- 2 町民の健康対策について
- ・長期化するコロナ過での健康対策について
- 3 子ども議会について
- ◆ ・子ども議会での質問事項の再評価について
- 4 産業の振興について
- ・地域木材の活用について
- 5 町長の政治姿勢について
- ・令和4年度予算の特徴は何かについて

宗像 芳男 議員 10ページ

- 1 一般行政について
- ◆ ・政策公約実現に向けてについて
- ・地域おこし協力隊について
- 2 農林観光行政について
- ・林道の整備と維持管理について
- ◆ ・県立公園の登山道の維持管理について

中野 孝一 議員 11ページ

- 1 農業振興対策について
- ・令和3年度の対策取り組みについて
- ◆ ・次年度以降の取り組みについて
- 2 「こまち浄水場」について
- ◆ ・「こまち浄水場」稼働状況について
- ・次年度以降の稼働について

會田 百合子 議員 12ページ

- 1 移住・定住事業について
- ・移住・定住の状況について
- ◆ ・移住・定住後の現状について
- 2 坂東内交差点について
- ◆ ・信号機について
- ・道路の段差について





緑川 久子 議員



ICT人材の確保・育成と
「デジタル化推進室」の設置を検討しては



専属職員を配置や、デジタルトランス
フォーメーション推進計画を策定

問 コロナ感染拡大

が続く中、人との接触を避けるオンライン・リモート化といったデジタル化の推進が喫緊の課題であります。

ICT人材の確保・育成や庁内に「デジタル化推進室」等の専門部署の設置が必要と考えますが、町の見解を伺います。

町長 デジタル化の推進は、人口減少、少子高齢化に伴う社会問題の解決や持続可能な社会の実現に向け、町民への行政サービスの向上、職員の事



中高年層など
デジタルを苦手とする
IT弱者への支援策は



国・県と連携し、
様々な場面を想定した
デジタル格差対策に取り組む

問 デジタル化の推

進には、情報リテラシー（IT技術の活用）やデジタルデバイス（情報格差）などの課題があります。

「誰も取り残さないデジタル化」の恩恵を享受できる社会の実現に向けたIT弱者に対しての支援策を伺います。

町長 IT技術の活用や操作に不慣れな方にとっては、必要な情報を入手することができないなど、デジタル技術を使いこなせる方とのデジタル格差が広がってしまいます。

デジタル化推進のためには専門的な知識を有する人材の確保と育成が必要です。



令和4年度においては、担当部署に専属の職員の配置や、民間企業等による業務支援を受けながら、各課横断的な組織として設置している、情報化推進本部等で検討を重ね、デジタルトランスフォーメーション推進計画を策定し、推進計画が着実に実行できると考えております。

総務省や福島県においては、高齢者がより身近な場所で研修できるような地域との連携や取組の拡充を図るとされております。



本町においては、本年度スマートフォンのお操作方法や購入に不安を抱えている方を対象に、スマホ教室を実施しました。令和4年度についても引き続きスマホ教室を実施してまいります。

今後のデジタル格差対策については、様々な方のご意見や場面を想定し、令和4年度に策定するデジタルトランスフォーメーション推進計画に位置づけ、国・県との連携を図りながら、取り組むたいと考えております。

問

小野高校の存続の可能性はないのか

答

県立高校後期実施計画の再考を 要望していく



会田 明生 議員

問 県教委は県立高校の全日制8校を4校に統合・再編する計画を発表しました。小野高校も再編の対象となつていますが、存続の可能性はないのか伺います。

町長 県立高校改革後期実施計画の中で、小野高校は船引高校と統合し、船引高校の校舎を活用することが示され、後期実施計画策定前に行った小野高校の存続に向けた要望活動は考慮されず、今後も全県的な再編整備を推進していくとしていくことから、存続は大変厳しいと考えております。

地域の規模や交通事情が異なる都市部と郡部に同じ基準を当てはめ、統合、再編を進めることは公平性に欠けており、高校が地域からなくなることで過疎中山間地域における人材育成の場が失われ、地域活力が低下することは地方創生の流れに逆行するものです。

今後、地域の教育力向上、人材育成、そして地域活性化に不可欠であることを強く求め、小野高校の存続に向けて後期実施計画の再考を要望して参ります。

再質問 当事者である生徒や地域の不安

町長 令和8年度統合まで、引き続き存続の要望をさせていただき、状況に応じて跡地利用やそれからの方策を検討していく考えです。

町長 子ども議会は、平成27年に小野町合併60周年を記念して開催されて以降、令和元年まで開催していません。多岐にわたる質問は、子ども目線・生活者目線での貴重な内容であり、再度評価検討を解消する方法、更には学校跡地の活用方法等々について、町の考えをご答弁いただける範囲でお願いいたします。

子ども議会は、これまで5回開催され、子ども議員からは子ども目線、生活者目線で、住みよいまちづくり、魅力あるまちづくりにしたいという熱い思いが伝わる質問をいただきました。

これまで提案があったものについては一つ一つ検討いたしました。例えば小野町をきれいにするための提案に対し、「快適環境のまちづくり週間」を町独自で定めて環境美化活動を推進したり、安全に生活することが出来るまちづくりとして、防犯灯の増設の提案に対し、現在も計画的に防犯灯の設置を進めて、町民皆様の安全・安心の確保に努めているなど、提案のあった内容を町の施策に取り入れたり、参考に新たな施策を立てるなど、まちづくりの有効な手段の一つとして活用させていただいております。



子ども議会(令和元年度)

町の施策に取り入れることが難しい提案もありましたが、目まぐるしく状況が変化している中で、町の現状または将来を見据えて、有効な施策になり得る提案もあると期待されており、ですので、改めて質問内容を様々な角度から検証するとともに、その検証した結果は、令和5年度からスタートいたします。次期町総合計画の立案の参考にしていこうと考えております。

問

子ども議会での質問事項の 再評価・検討しては

答

再検証し、次期総合計画の 立案の参考にしたい



議員 芳男 宗像

問

政策公約実現に向けてについて

答

次期総合計画に公約した施策を組み入れてく

問 村上町長就任以来はや1年を迎えますが、公約に掲げた大きな目標の姿が未だにはつきりと見えてこないように見受けられます。公約の実現に向けてスピードアップすべきと思いますが、町長の考えを伺います。

町長 昨年3月に町長に就任した際に、政策の基本となる4つの柱を掲げさせていただきました。人づくり、子育て支援、健康づくりの推進、産業のさらなる振興、発展、

そして、支え合える地域づくりであり、この柱を基に魅力ある持続可能なまちづくりを町民の皆様と共に取り組んで参ります。また、今後も新型コロナウイルス感染症対策と並行して、公約として掲げた様々な施策を展開して参ります。特に、新庁舎建設は、現在の役場庁舎の状況から早急に建設を進める必要があり、今年度は内部組織で庁舎整備の方針検討を重ね、その検討結果を基に基本計画策定の所要の予算も次年度当初予算に計上し



ております。新庁舎建設に当たっては、これまでの経過を踏まえ、将来にわたり求められる機能を有した新庁舎の早期着工、早期完成に向けて全力で取り組めます。来年度は、町の次期総合計画の策定に入ります。まちづくりの基本となる総合計画にも公約した施策を組み入れていくなど、スピード感を持って着実に公約を実行して参ります。

問

県立公園の登山道の維持管理について

答

町と地元が協議しながら豊かな自然を守る

問 県立公園高柴山はコロナ禍にあつて健康増進のための野外活動として注目されています。そのために登山道の整備は不可欠であり、地元愛林組合が中心となつて整備をしています。補助金予算の増額について、町長の考えを伺います。

町長 コロナ禍でも、比較的安全に活動できる少人数での野外活動や登山などは注目され、小野町の貴重な観光資源でもある高柴山、矢大臣山、東堂山にも、年間を通して多くの観光客、登山客が訪れております。

こうした観光資源の維持管理は、地元の行政区や地域団体の皆



高柴山登山道

さんが中心となつて、長年にわたり安全確保や環境維持のため整備に取り組んでいただき、町が毎年一定額の補助金を支出しておりますが、今後も状況を把握しながら、適切な支援に努めて参ります。

通常の維持管理で対応できない登山道の崩れや災害による崩落、倒木など、地元団体では対応不可能な災害復旧等の工事につきましては、これまで同様、町と地元が協議しながら対応し地域の豊かな自然を守りたいと考えております。



農業振興対策の次年度以降の 取り組みについて



持続可能な豊かで活力ある農業づくりを 目指し、農家に寄り添った対策に取り組む



中野 孝一 議員

問 「未来へ おのま
ち総合計画」は令和4
年度が最終年度とな
り、取組の総合年度に
なりますが迅速な対
応が必要である農業
振興対策について、次
年度以後どのような
施策を講じて取り組
んでいくのか、町長に
伺います。

町長 次年度は、継
続した各種施策と併
せ、農業生産法人の設
立に向けての支援を
考えております。

また、認定農業者な
どを対象に、ドローン
の活用などによる農
作業の省力化と経営

の効率化による経営
規模拡大を目指すス
マート農業に取り組
む担い手に対する支
援や、町外からの新規
就農者の確保を図る
ため、研修受入れ可能
な農家の方々の協力
を得ながら、湯沢体験
農園管理施設を活用
したお試し農業体験
の実施、更に経営の多
角化による農業所得
の向上を図るため、6
次化産業に取り組む
農業者などに対する
支援など、新たな施策
の展開を考えており
ます。

農業従事者の確保、
育成に力を注ぎ、持続
可能な豊かで活力あ
る農業づくりを目指
し、引き続き関係機関
との連携を図りなが
ら、農家に寄り添った
農業振興対策に取り
組んで参ります。



「こまち浄水場」の稼働状況について



水質改善の見込みがなく、 平成30年より休止している

問 多目的ダム「こま
ちダム」の隣接地に、
安定した水道用水を
供給するために「こま
ち浄水場」を設置した
が、今年度までの稼働
状況について町長に伺
いたい。

浄水からカビ臭が発
生する等、適切な浄水
処理が困難になり、各
家庭への給水を停止し
ました。

その後、常時原水及
び浄水の水質検査を
行い、状態の
経過を観察
しながら、県
との調整を
し、水道専門
家からの助
言、費用面も
含めた設備
改修の検討
等、水質の改
善を試みま
したが、現状
においては水
質改善の見
込みがなく、

町長 こまち浄水場
の稼働状況ですが、開
始当初からダム貯留
水の原水の水質状態
が思わしくなく、特に
夏場においては、取水
を制限しながらの運
転も余儀なくされて
おりました。

平成24年以降は、薬
品注入設備を追加す
る等の処理をしまし
たが、平成27年には、



こまちダム



會田 百合子 議員

問

移住・定住者に対しての移住後の対応は

答

行政や町民と関わる機会の創出と
アフターフォローの充実を図っていく

問 自然が豊かで土地も安かった等で移住、定住を決めて10年以上住んでいた方が、人との付き合いが難しく小野町を離れると聞き、寂しく思いました。このような方々に対して、町ではどのように対応していくのか伺います。

町長 町の交流・定住支援館内に設置されている移住情報プラザ「つとておのまち」において、定住コーディネーターと地域おこし協力隊が1名ずつ常駐しており、移



住希望の相談や移住後の各種相談に対応しているところです。今後は、移住者及び移住希望者に対して、より広く情報発信し、移住情報プラザつとておのまちを拠点として、行政及び町民の皆様が移住者の方々と積極的に関わっていく機会を創出することで、移住後のアフターフォローの充実を図って参りたいと考えております。

問

坂東内交差点を
時差式信号機にできないか

答

交通事故防止の観点から
関係機関と協議を進めたい

問 朝の通勤時間帯、町内から田村市方面に右折しようとする、と、直進してくる車が多いため渋滞になってしまします。時差式信号機にできないのか伺います。

町長 時差式信号機につきま



坂東内交差点

しては、一般的には設置の条件として右折レーンを整備することが必要とされており、本交差点につきましては、見通しのよくない左カーブを経て段差のある交差点に進入する道路構造となっており、交通事故防止の観点から、車両が安全に交差点へ侵入できるよう右折レーンの整備が特に必要になると考えられます。

そのためには、整備

に必要となる用地の取得のほか、本交差点が抱える道路構造上の諸課題への対策等が求められるなど、大変厳しい状況であります。解決すべき課題も多い状況ではありますが、交通事故防止の観点から安全対策を講じることができないか、関係機関と協議を進めてまいりたいと考えております。

議会活動トピックス

タブレット端末導入によるペーパーレス化

会議資料を紙から電子データへ移行し、タブレット端末を活用した会議を定例会3月会議より本格的に開始しました。

迅速な議会の運営等により開かれた議会の実現、議会改革の推進を目指します。



予算決算常任委員会の様子



タブレット導入前の常任委員会



タブレット活用による常任委員会

葉たばこの播種状況を視察(3月9日)

厚生産業常任委員会では、町内にある「葉たばこ共同育苗施設」で行われた令和4年産たばこの播種(種まき)状況を視察しました。JA福島さくら南部営農経済センター長及び南東北たばこ耕作組合長より説明を受けました。



葉たばこの播種状況



センター長から事業の概要説明

議会活動日誌

2月

- 2日 田村広域行政組合議会運営委員会・全員協議会（三春町）
- 9日 田村広域行政組合議会定例会（三春町）
郡山地方広域消防組合議会定例会
- 10日 月例全員協議会／タブレット操作研修会
- 16日 県町村議会議長会 理事・監事合同会議【書面に変更】
県町村議会議長会 定期総会【書面に変更】
- 25日 例月出納検査
- 28日 議会運営委員会／議会全員協議会

3月

- 3日～11日 小野町議会定例会3月会議
- 9日 厚生産業常任委員会葉たばこ播種状況視察
- 10日 議会運営委員会／議会全員協議会
- 11日 小野中学校卒業式／月例全員協議会
- 12日 保育園卒園式（閉園式）（中央さくら・飯豊ひまわり・夏井おおすぎ）
- 17日 災害対策本部会議（第1回・第2回）
- 18日 小野町交通対策協議会／小野わかば幼稚園卒園式（閉園式）
- 22日 第25回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
郡山地方広域消防組合議会臨時会
- 23日 小野小学校卒業式
- 24日 おのまち認定こども園落成式
- 25日 例月出納検査
- 28日 小野町教職員離任式
- 30日 公立小野町地方総合病院企業団議会

4月

- 4日 小野町教職員着任式
- 5日 福島県町村議会議長会 地方事務局長会議
- 6日 小野小学校入学式／小野中学校入学式
- 9日 おのまち認定こども園開園式・入園式
- 10日 百歳賀寿伝達式
- 11日 小野高校入学式／月例全員協議会
- 13日 人権擁護委員田村地区部会総会
- 14日 田村地方町村議会議長会定期総会
令和3年度田村地方町村議会議長会会計監査
- 17日 小野町消防団春期検閲式
- 18日 第26回新型コロナウイルス感染症対策本部会議
- 20日 町長杯ゲートボール大会
- 25日 例月出納検査

議会からのお願い

議会だよりの取材のため、腕章をつけた広報編集委員会の委員が、お伺いしますので、ご理解・ご協力をお願いします。

定例会6月会議は

6月8日(水)から開会します。

一般質問は夜間議会で6月9日(木)・10日(金)の予定です。

- 新型コロナウイルス感染症対策として議場の傍聴席の間隔を広げるため、座席数に限りがありますので、ご理解とご協力をお願いします。
 - 傍聴席が満席の場合は、会議室でのテレビ視聴となる場合があります。
 - 一般質問の様子をYouTubeにより動画配信をいたします。
- ※詳しくは小野町議会事務局までお問い合わせください。(0247-72-6930)

QRコードから
アクセス
してください



マチイロ
マチを好きになるアプリ

より多くの皆さんに「おのまち議会だより」をお届けできるよう、スマートフォン用無料広報誌アプリ「マチイロ」で配信をしています。ぜひご覧ください。

マチイロで配信しています！

スマホ用アプリ



4月下旬満開の桜の下、小野町消防団による春季検閲式が小野運動公園多目的グラウンドにおいて3年ぶりに開催されました。

表紙の写真

小野町議会

【小野町議会広報編集委員会】

委員長	田村 弘文
副委員長	竹川 里志
委員	宗像 芳男
委員	会田 明生
委員	先崎 勝馬
委員	緑川 久子
委員	中野 孝一
委員	會田 百合子

「ゆく河の流れは絶えずして、しかももとの水にあらず。淀みに浮かぶうたかたは、かつ消えかつ結ぶて、久しくとどまりたるためしなし。」
鴨長明の生きていた鎌倉時代は、本人の失脚、大火や大地震、疫病、飢饉、そして京都から福原への遷都、源平の争いなど先の見えない不安や混乱の時代でした。
現在も災害、大地震、原発事故や疫病、戦争など科学や文明がこれ程進んでいても人間のこころの不安や心配は同じです。
江戸時代や明治時代の著名な作家達にも多に影響を与えたといわれる「方丈記」など古典や歴史書を読み直してみると新型コロナウイルスの影響で先の見えない世界や混乱しているこの時代に不安とは何か、人間の幸福や満足とは何か歴史の中で先人の経験から教えているのかもしれない。
早くアフターコロナの行動を願います。

小野町議会広報編集委員長
竹川 里志

・あながき・